



図1 阿蘇山 警戒が必要な範囲

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。



図 2-1 阿蘇山 噴煙の状況（10 月 20 日、草千里監視カメラ）



図 2-2 阿蘇山 噴煙の状況（10 月 20 日、車帰監視カメラ）

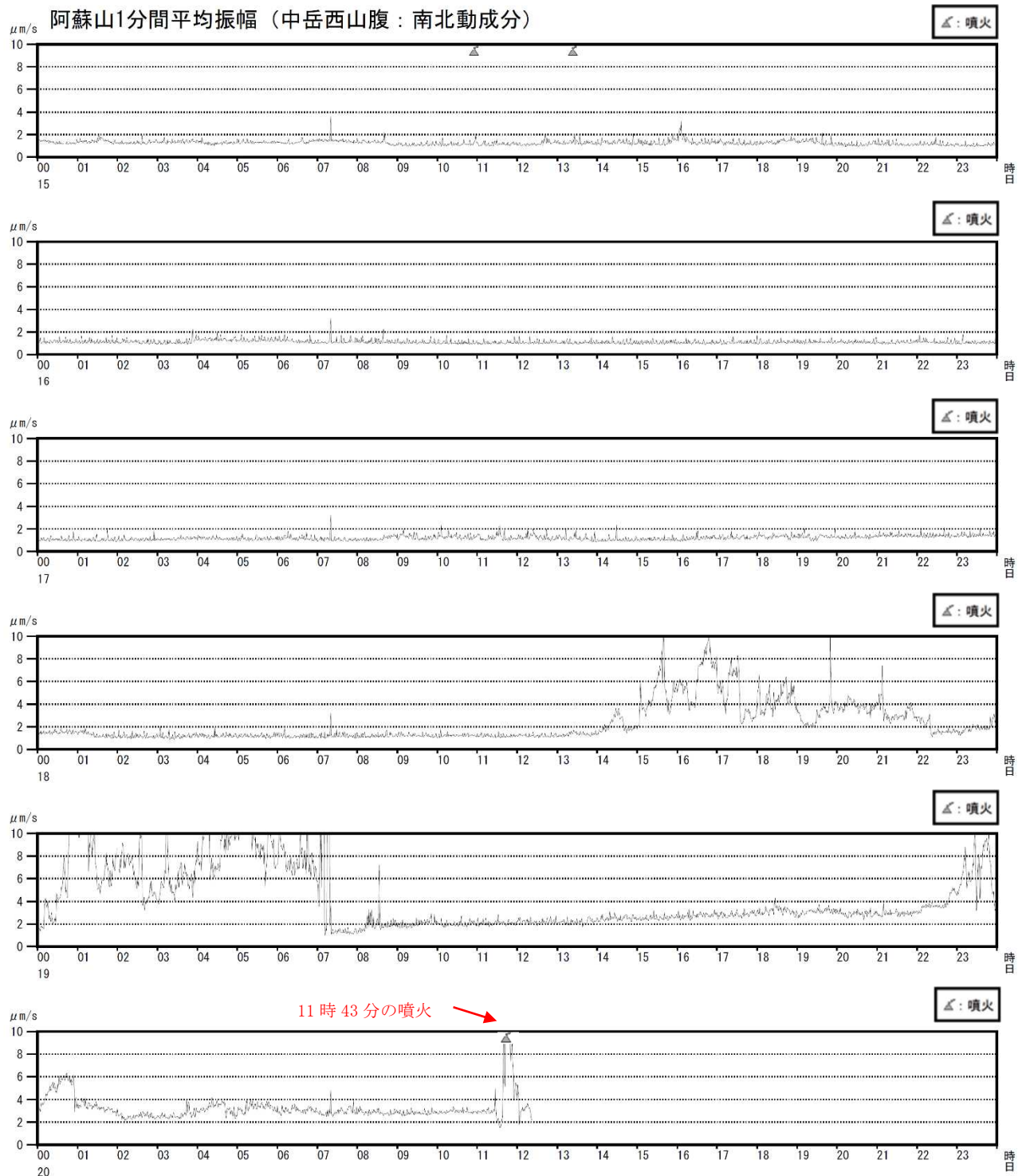


図3 阿蘇山 火山性微動 1分間平均振幅
 （中岳西山腹観測点南北動成分、10月15日～20日12時20分）
 火山性微動の振幅は、噴火前までは4 $\mu\text{m/s}$ 程度で経過していました。

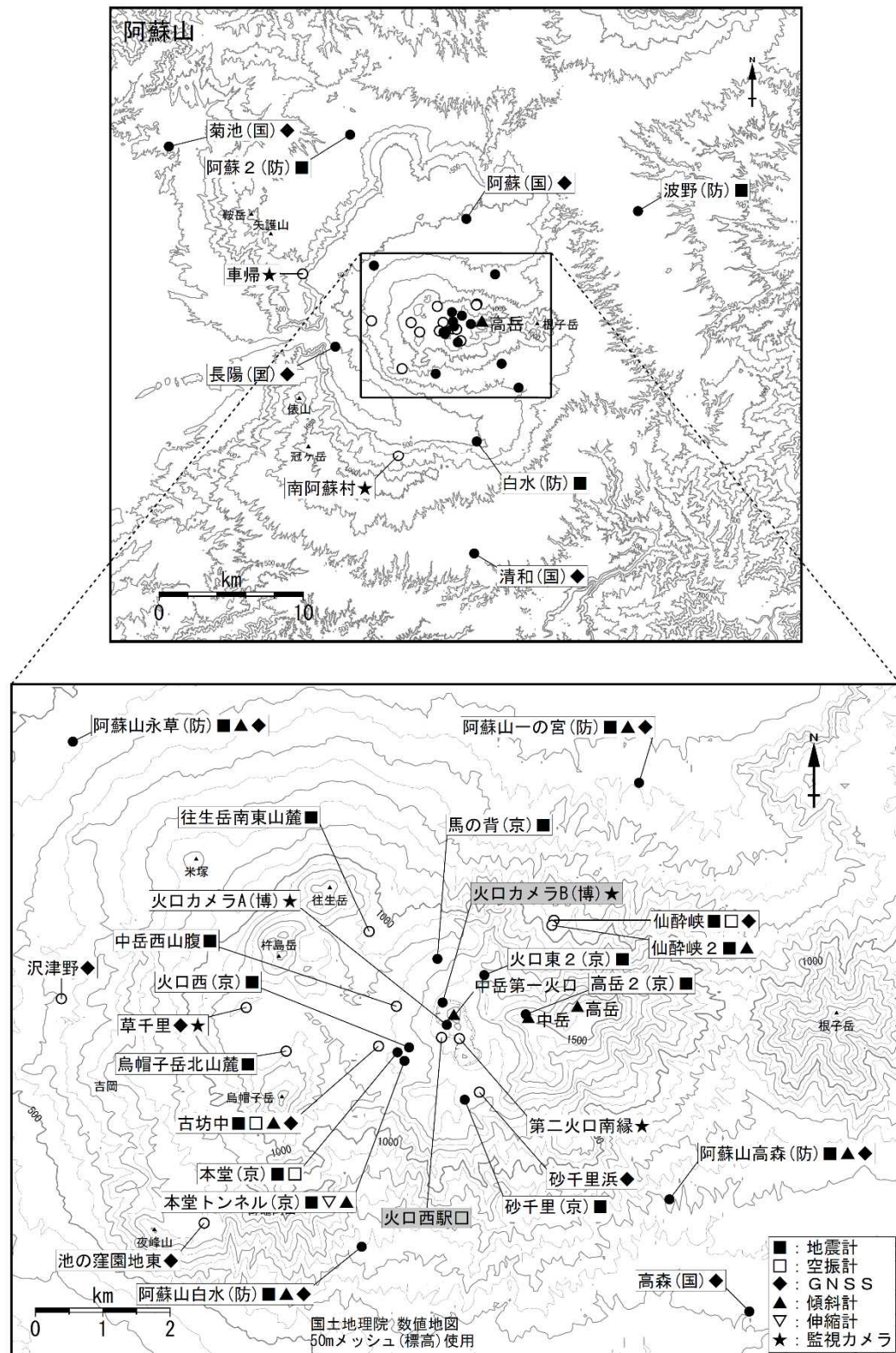


図4 阿蘇山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (京): 京都大学、(防): 防災科学技術研究所、(博): 阿蘇火山博物館、(国): 国土地理院
 図中の灰色の観測点名は、噴火により障害となった観測点を示しています。